感染性胃腸炎を防ぎましょう

～感染性胃腸炎は季節を問わずいつでも発症する可能性があります～

どんな病気？

☺主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。
☺原因ウイルスには「ノロウイルス」「ロタウイルス」など複数あります。
☺手指や食品を介して口に入り、腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などをおこします。
☺通常は軽症で回復しますが、子どもや高齢者では症状が重症化することがあります。
☺つらい症状を軽減するための治療（対症療法）が行われます。
☺家族間や施設内で感染が広がることがありますが、適切な対処で予防できます。

一人ひとりの予防行動で感染流行を止めましょう

注意
新型コロナウイルスに有効なアルコールは、感染性胃腸炎には効果がありません！

★手洗いをきちんと行いましょう

特に排便後、調理や食事の前には、その都度、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。小さな子には、大人がついて石けん手洗いを補助してください。

★吐物、ふん便の処理、汚染された恐れのある場所の消毒

吐物やふん便は、布やペーパータオル等で外側から内側に向けて汚れた側を折り込みながら静かにぬぐい取り、その後、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）*を使用し消毒しましょう。
リネン類は熱水洗濯（85℃１分以上）も有効です。
対応時は使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

＊　次亜塩素酸ナトリウムの濃度
　流行時の消毒、トイレ床周り、ふん便や吐物が付着した床、衣類のつけ置き→　０．１％（1000ppm）
　流行時以外の日常の清掃時→　０．02％（200ppm）

集団発生時は保健所へご連絡ください

★発症者が10名以上及び利用者の半数以上の場合

速やかな保健所への電話連絡をお願いします。

★発症者が10名未満の場合

早期対策のため、全利用者数（職員含む）の３％で電話連絡をお願いします。
例）利用者80名・職員20名の場合→3名（100名の3％）
＊全利用者数が100名未満の場合→2名で連絡をお願いします。

連絡先

北海道帯広保健所 健康推進課 健康支援第一係
（感染症直通）０155－26－9084